

2006年3月13日

学校から教科書を頂いたら…

—遠慮せずにどんどん予習してしまおう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：新しい学年がスタートし、学校から教科書や教材が配付されたらどうしたらよいですか。

A：(林 明夫。以下略)答えは唯(ただ)一つ。「好きな科目だけでよいですから、どんどん予習してしまおう」です。

Q：学校での授業が始まる前に、教科書や教材を予習してもよいのですか。

A：もちろんです。一度配付された教科書や教材は皆さんのものですので、どんどん予習してしましましょう。

ただし、いくら予習したからといって、授業中に「知ったかぶり」だけはしないで下さいね。

Q：では、どのように予習すればよいのですか。

A：自分の好きなようにすればよいのです。大きな声を出して教科書の本文を最初から読んでみるのも予習。科目ごとに用意した新しいノートに要点をまとめ、問題を解いてみるのも予習。分からない言葉を辞書を使って調べたり、新しい語句の書き方を練習したりするのも予習。

楽器が演奏できる人や音符通り歌える人は、新学年の音楽の教科書に出てくる曲を自分で演奏し、歌ってみるのも予習。CDを手に入れて全曲聴いてみるのも予習。

家庭科や美術、保健・体育の教科書や教材を最初のページからじっくり読み、1年間の勉強の流れを知った上で、面白そうなものは実際にやってみるのも予習。

私は、小学生の時ばかりではなく高校生の時までずっと社会科が大好きだったので、新学年に教科書が配られると、新しいノートを1冊用意し、「項目」と大切なところをノートに書き写していました。社会科だけは、ゴールデンウィークが始まるころまでには教科書の大半を勉強し終えていることが多かった記憶があります。社会科は、難しい語句や漢字、固有名詞が多いので、少し早めに勉強しておくのと、授業も分かりやすかったようです。

Q：英語の予習は、どのようにしたらよいのですか。

A：私は、テープを手に入れて、教科書を読む練習をしていました。皆さんはCDやMDを手に入れて、教科書を何十回、何百回も大きな声で読む練習をなさることをお勧めします。よく読めるようになったら、意味調べや単語の書き取り練習をどんどんしてしまうことです。本文もできるだけ覚えてしまいましょう。

高校生の皆さんも同じですよ。CDやMDを活用してよく読めるようにすること。教科書を1課ずつコピーして段落(パラグラフ)ごとにコピーを切り取り、それを見開きのノートの左ページの上の方に「のり」で貼り、その下には単語調べをすること。この時、右ページは空けておきます。中学生以上の皆さんは、単語を書く練習を毎日欠かさずして下さいね。

Q：数学の予習は、どのようにしたらよいのですか。

A：数学こそノートを1冊用意して、教科書の大切なところを写すくらいの丁寧さで、ノートを使った勉強をして下さい。見開きノートの左ページだけ使い、問題文を必ず全部写してから取り組んでみる。分からない問題も必ず写して、授業中に解答が書けるだけのスペースを空けておくこと。教科書の1章分が予習できたら、問題集の問題をそのノートの続きに解いてみる。数学は、復習や定期試験、入試準備のことも考えて、もったいないと思わずに1章ずつノートを分けて勉強することをお勧めします。

①問題は必ず全文写すこと。②ノートは見開きで使用し、予習の時は左ページのみ使用し、右のページは空けておくこと。この2つをお勧めします。

Q：国語の予習は、どのようにしたらよいのですか。

A：1章ずつ大きな声で何回も音読してよく読めるようにすること。よく読めるようになったら、分からない語句を辞書で調べ、その意味を暗記すること。正確に書くことのできない語句は、書き取り練習をして書けるまでにすること。気に入った作品は図書館で借りたり書店で購入したりして、原典(もともとの作品)を全文読んでみることをお勧めします。

Q：最後にお聞きしますが、予習は何のためにするのですか。

A：分からないところをはっきりさせて、「自覚」を持って授業に臨むためにするのが予習です。以上のことを踏まえて、頑張って予習して下さい。

3月12日記